

震災豫防調査會報告 第八十五號

曩ニ本會ノ命ヲ受ケ耶馬溪及英彥火山ノ地質調査ニ從事セシ本會囑託理學士加藤武夫ノ調査報文ヲ茲ニ提出候也

大正六年四月

委員理學博士 小 藤 文 次 郎

震災豫防調査會長

理學博士男爵 菊地 大 麓 殿

小藤博士ガ常ニ懇篤ナル注意ト教示ヲ吝マレザリシニ對シ謹シデ茲ニ謝意ヲ表ス、若シ先生ノ獎勵無クンバ此難解ノ地方ノ調査ハ蓋シ企期ノ結果ヲ得ルニ至ラザリシナラン。

明治専門學校助教授砂田數夫君ハ余ト同行シテ此地方ノ風景ヲ撮影シ本報文ニ光彩ヲ添ヘタル事少カラズ、因テ同君ニ對シテ感謝ス。

大正五年六月

震災豫防調査會囑託員明治専門學校教授 理學士 加藤 武夫

耶馬溪及英彥山地方地質調査報文

豊前國耶馬溪及ビ英彥山地方ハ廣ク火山岩類ニヨリテ被覆セラレ我國ノ地體構造上及ビ火山活動ノ比較研究上重要ナル地帶ナリ、余ハ此地方ノ地質調査ヲ思ヒ立チ明治四十五年ヨリ本年ニ至ルマデ數回ノ踏査ヲナシ、其延日數約四十日ニ達シ略ボ野外ノ作業ヲ終リタルヲ以テ、其結果ト實驗室ニ於ケル研究ノ結果トヲ綜合シテ此地方ノ地質及ビ風景論ヲ編シ、耶馬溪及ビ英彥山地方地質調査報文トシテ提出ス。